

○スタッフ紹介



ゆるちゃん



いつも笑顔で元気いっぱいのゆるちゃんは、小さなお友だちと一緒に森であそぶのが好き!

自然の不思議やきれいなところ、おもしろいところ、『センス・オブ・ワンダー』を感じてもらって、「実はみんなのおうちの周りにもたくさんの不思議があるんだよ!」と気づいてほしいと思っています。

普段は、園内の木の管理がお仕事。いろんな木の様子をよく見ているゆるちゃんだからこそ、みんなに伝えられることがたくさんあります。

ゆるちゃんと一緒に森に出かけて、たくさんの不思議を見つけよう!

イベント日程

うみほしDAY

3/20(日)
10:00
~16:00

昨年から月に一度、開催してきたうみほしDAYも今年度は残すところあと1回! 森もリキッズや森のカフェの特別メニューをお楽しみに!



参加料金:300円~

うみほしDAYは4月からは毎月第一日曜日にお引越! 未就学児の親子を対象にしたどんぐりようちえんや、毎月のお楽しみ企画が新しく登場。

リニューアルするうみほしDAYにおいで!

4/3(日)
10:00~16:00

森ガキになろう! 2016 春

3/26(土)
27(日)
1泊2日

野草でクッキングしたり、森で木を切ったり、春の森は楽しさ満点! みんなで森に出かけよう!



参加料金:13,000円
集合場所:京都駅アバンティ前
(現地までの送迎バスあり)
募集人数:20名(先着順)
参加対象:京阪神地域の小学生
募集期間:3月11日(金)まで

umihoshi
丹後 海と星の見える丘公園

うみほし通信

2016 冬
vol.64

手触りは素朴
キモチまで織り上げるからあたたかい。



umihoshi information

アクセス



- 京都縦貫自動車道經由「宮津・天橋立IC」から
国道178号線を伊根方面へ約25分
京都駅・大阪駅から約2時間強
- 京都丹後鉄道「天橋立駅」から丹海バスで伊根方面へ約40分
「波見口」バス停下車徒歩約30分(約2km)
- 「海と星の公園下」バス停下車徒歩約15分
(風の谷に続く急な山道です)

編集後記

編集にかかる期間は実は年末年始です。良いお年を...から新年のど真ん中。それぞれ、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。このスケジュールにかかるというも以上にせわしく感じます。いつも早くしようしようとはするのですが結局いつもと変わらない...いやいつも以上? 新年早々申し訳ありません。

気を取り直して...うみほし公園は1月と2月はお休みです。これからは里よりも少しだけ雪も深くなる季節(今年は降るんでしょうか...)年度の終わりとしての春にスパークかけるためにもうすこしだけ冬眠します。今年は暖冬の影響で野菜も大きく育ちすぎると言います。うみほしは育ち過ぎではなく、ますますパワーアップして春からまた皆さんをお迎えします。ではまた3月、お会い出来るのを楽しみにしています!

編集人 あっしー

問合せ・申込み

京都府立丹後海と星の見える丘公園

開園時間 9:00~17:00
休園日 木曜日(祝日除く)及び年末~2月末
入場料無料/駐車場 200台(無料)
※1月~2月は閉園しております。

1月~2月は
閉園しています。

〒626-0211 京都府宮津市字里波見
TEL.0772-28-9111 / FAX.0772-28-9025
✉ e-ds@eco-future-park.jp
http://www.eco-future-park.jp

うみほし通信発行
公園指定管理者 NPO法人 地球デザインスクール

umihoshi

イベント報告

どんぐりようちえん2015 ~森の芸術家になろう!~

10月31日(土)



紅葉の秋!いろいろな色や形の落ち葉、木の実を集めて、マントとステッキをつくり魔法使いに変身しました。「春になったらきれいなお花がさますよーに!」森に魔法をかけました。

いくぜ! ユニバーサルキャンプ

11月7日(土)
8日(日)



発達障害の小学生を対象に、森の中を探索したり、池の中の生きものを観察したり、みんなで火を起こして焼き芋したり、秋のうみほし公園をたくさん楽しんだ2日間。見て、触って、味わって、自然をめいっぱい体で感じました!

丹ガキになろう! 2015 秋

11月14日(土)
~15日(日)



丹後地域の小学生を対象にした、秋の「丹後のガキ大将になろう!」。「弁当忘れても傘忘れるな!」と言われるくらい天候が不安定な秋の丹後。2日間、雨模様もなんのその!木の伐採や笹刈りを行いました。

畑で収穫したものをはじめ地元の食材にこだわり、出汁をとるところから夕食を作ったり、丹後の歴史を「丹後語り部の会」の方にお話をいただいたり、木工をしたりと盛りだくさんの第2弾となりました。

どんぐりようちえん2015 ~たき火をしよう!~

12月12日(土)



マッチを使ってたき火に挑戦。はじめての経験でドキドキしたけれど、火が消えないように工夫することはとても面白い!!お昼ごはんは、焼きおにぎりや畑で採れたお野菜の味噌汁で、身体も心もほっこり温まりました。

里ガキになろう! 2015 冬

12月26日(土)
~27日(日)



今回は、里の正月スペシャル!自分たちで森の中で集めた自然素材を使用してのミニ門松作りや木の板で年賀状を作りました。

食事豪華に!バラ寿司やシシ鍋を食べ、餅つきやソバ打ちを地元の方に教えてもらいながらみんなで楽しく作りました。

羽子板やコマでたくさん遊んで、正月を身体いっぱい楽しんだ2日間になりました。

京都自然塾

京都自然塾を始めてから5年。小学生からシニア世代まで延べ2,300名を超える方に体験していただきました。今年は親子行事など家族で体験された方が多かったです。

子どもたちが生きる未来のために、何ができるかを、大切な人と一緒に考えてみませんか。





ゆるちゃんの森づくり日記

12月10日

～ゆるちゃん、はじめての炭づくり～

公園整備で伐った木を使い、地域の方の炭焼き窯を借りて炭づくりをしました。

炭焼きをするには、窯ぎゅうぎゅうになるまで木がいらす。その木の量はなんと、軽トラック4台分!!

2日間火をずっとたき続け、火が完全に消えてから煙が出なくなるまで5日間。1週間かかって、炭が完成!たくさんあった木も、炭にすると軽トラック1台半の量になるんです。

時間と手間をかけてつくった炭、大事に使いたいです。この炭は体験プログラムなどで使っていきます!



大学生たちと眼下に広がる日本海を見下ろす。スカイツリーとほぼ同じ高さからの景色は絶景。



教師になって初めて赴任した学校が世屋で、里山の美しさに感動したそうです。今では世屋を案内するエコツアーガイドの一員として、自然の美しい風景を切り取るカメラマンとして、世屋の魅力を発信されています。

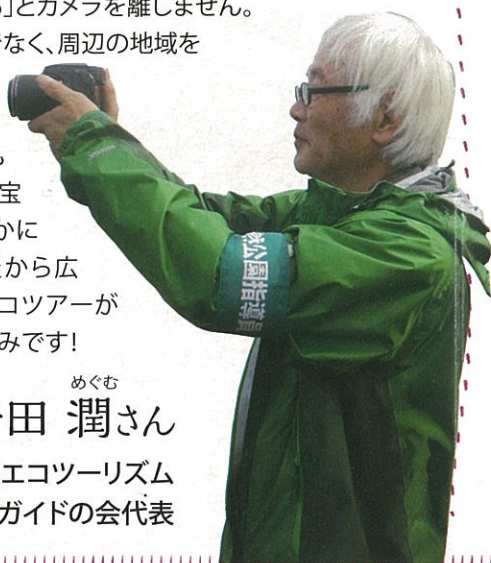
「エコツーリズムは足下の地域に、ここが世界で一番美しいところ、美味しいものを見つける運動。ファインダーを通してその作業をしている」とカメラを離しません。これからは世屋だけでなく、周辺の地域を「つなげていきたい」という安田さん。

「個々では見えないものが、つながることで宝物になっていく」と静かに熱く語られます。世屋から広がり、深まる丹後のエコツアーがこれからますます楽しみです!

めぐむ

安田 潤さん

宮津世屋エコツーリズム
ガイドの会代表



うみほし鑑



フジ(藤)

Wisteria Floribunda

マメ科フジ属

うみほし開花期 5月上旬



フジと言えば「藤色」と紫のイメージが強いですが、園芸種には白色や黄色もあります。園内にも紫色の花をつけるフジがいくつかあって、春には公園に彩りを添えてくれます。

花は特徴的に咲き、20〜50cm垂れ下がるように小さな花をたくさんつけます。つる性の植物のため、近くの木に巻き付きながら成長し、中にはナント1000年以上生きるフジもあるそうです。長生きで、花がたくさんつくことから「めでたい木」と古くから愛されてきました。その為、日本には「藤」がつく苗字や地名が多くなったと言われています。

きれいな花ばかりに目がいきませんが、つるの活用はさまざまで藤織りのように繊維から布を作る利用だけではなく、カゴ作りの材料やクリスマスリースにも使われます。

フジの花言葉には「決して離れない」という意味もあります。がっちり巻きつき死ぬまで離さない!「丹後藤織り保存会」の会員の方も、そんなフジの魅力に巻きつかれているのではないのでしょうか。



丹後の冬。京都府の中でも3mを超える雪が積もる場所があるという事をご存知でしょうか。その場所は、宮津市の山間にある上世屋地区。ここには、昔から受け継がれている知恵(技術)があります。

藤織り講習会



修了生も含めて皆で藤織りを作る様子は「講習会」というより「作業会」といった趣。

井之本泰さんが代表を務められている「丹後藤織り保存会」では、植物の藤から繊維を取り出し、「藤織り」という布を織りあげる技術を学ぶ「藤織り講習会」を開いておられます。講習会は、山に入り原料の藤づるを採取することから始まります。皮を煮て、清流の水ですすぎ、糸にして、織機にかける。これらを8カ月、全7回の講座を経て作り上げていきます。

「技術もさることながら、背景を物語としても伝えていきたい」と話す井之本さん。作業手順だけなら1週間でできるかもしれませんが、しかし、昔は農作業の合間を縫って、年間を通じてやっと作り上げられた藤織り。その作業工程とともに上世屋の風景が動いていくことが大切だと感じておられるのです。

上世屋の風景が動いていく...

今回の取材を通して、うみほし公園が目指す「自然に寄り添う場所」を実際に上世屋で見ることができたように思います。

この土地の自然に教えてもらい、公園に訪れる人と同じ空気を吸う。上世屋とも通じた感じ方を大切にしていきたいです。

今年も第32回藤織り講習会の開催を予定されています。興味がある方は、ぜひ参加してみてください。

「それは、上世屋が
教えてくれること」

今回で31回目を迎えた藤織り講習会。講習会の修了生で組織される「丹後藤織り保存会」の会員の数は全国で150名以上ののぼります。修了生の中には、講習会が終わってもボランティアで手伝いや指導役として参加してくれる方もいるそうです。

「上世屋に来るにつれて、雑多なものから抜け出せるからじゃないかと井之本さんはおっしゃいます。きっと上世屋の風景や人の魅力に、はまってしまう人も少なくないのでは...」



井之本泰さん



うみほし通信

2015
vol.64

冬

木の時計は
ゆるゆると刻む

題字

へるも